

柴又地域文化的景観説明会

平成28年10月28・29日

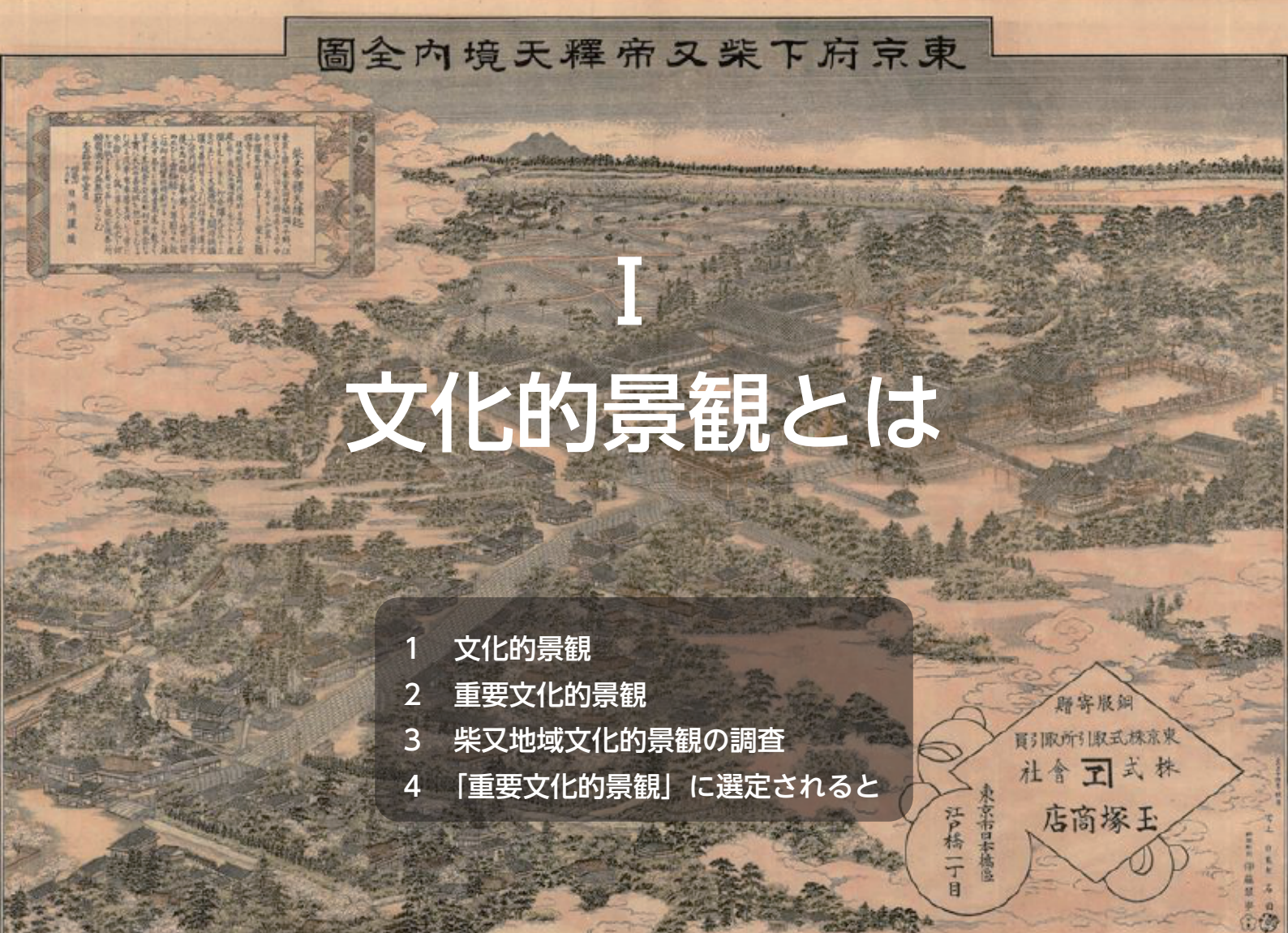
# 柴又地域文化的景観を 「風景の国宝」に

葛飾区教育委員会事務局生涯学習課



## 目次

- I 文化的景観とは
- II 柴又の歴史的的魅力
- III 柴又地域文化的景観の魅力
- IV 柴又地域文化的景観の保存指針



# I 文化的景観とは

- 1 文化的景観
- 2 重要文化的景観
- 3 柴又地域文化的景観の調査
- 4 「重要文化的景観」に選定されると

贈寄服銅  
買引取所引取式株京東  
社合 司 式 株  
店商塚玉  
東京市口七橋區  
江戸橋一丁目

## 1 文化的景観

文化的景観とは、風土に根差して営まれてきた人々の生活や生業のあり方を表す景観地のことを言い、私たちが自然や風土と共存する中で育まれてきた原風景ともいえるものです。

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの（文化財保護法第二条第一項第五号より）

## 2 重要文化的景観

文化的景観は、平成16年の文化財保護法の改正に伴い、有形や無形などの文化財の種類として、景観の文化的な価値を評価し、地域で守り継ぐために新たに制度化されたものです。

文化的景観の中でも特に重要なものを「重要文化的景観」として国が選定する制度が整えられました。「重要文化的景観」は、いわば「風景の国宝」ともいえる文化財なのです。

## 3 柴又地域文化的景観の調査

柴又の歴史的・文化的価値や風景、あるいは、そこに息づく下町人情といったものは、全国に広く知られているところですが、葛飾区では、それら全ての魅力について「文化的景観」という観点から調査しました。

文化庁や東京都教育庁の協力を得て、柴又地域の方々や学識経験者と一緒、平成23年度から4年間かけて調査した結果、再確認したものや新たなものを含めて、様々な柴又の魅力が明らかになりました。



## 4 「重要文化的景観」に選定されると

柴又地域の方々が日々の生活を営む日常の風景が、東京都内初の「風景の国宝」に認められたことになり、日本を代表する景観の一つとして、柴又地域の誇りとなります。こうした話題性による観光客の増という経済的メリットに加え、柴又ならではの魅力あるまちづくりや地域の活性化へと繋がることも期待できます。

一方で、文化財になると様々な規制がかかると考えがちですが、今までどおり周囲と調和する景観を維持していただければ良いと考えています。

葛飾区では、柴又地域文化的景観の価値をご理解いただき、それをどのように保存・活用していくかを地域の皆様と一緒に考え、素晴らしい景観を後世に継承していきたいと考えています。



## II 柴又の歴史的的魅力

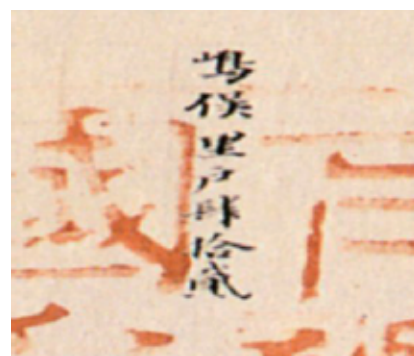
- 1 地名の由来
- 2 柴又の歴史的特性



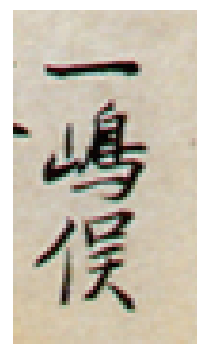
### 1 地名の由来

柴又という地名は、「嶋俣」から転訛したものです。柴又地域は、縄文海進後の海が後退する過程で海岸線付近に土砂が堆積して陸化したところでは、川が分流・合流したりする又(俣)状のところは、土砂の堆積が顕著で、低地の中に嶋のような高まり(微高地)を形成したところから「嶋俣」と呼ばれるようになったと考えられています。

川が分流・合流したりする又(俣)状のところは、土砂の堆積が顕著で、低地の中に嶋のような高まり(微高地)を形成したところから「嶋俣」と呼ばれるようになったと考えられています。



「養老五年下総国葛飾郡大嶋郷戸籍」部分(複製)  
養老5(721)年 葛飾区郷土と天文の博物館蔵



「応永五年葛西御厨田数注文写」部分(原資料)  
応永5(1398)年 国立公文書館蔵

## 2 柴又の歴史的特性

柴又は、古くから太日川（現在の江戸川）の流れに抱かれ、その河床の浅さゆえに「渡河地点」となり、また水上交通と陸上交通とが交差する交通の要衝の地「交流の結節点」として機能してきました。

そして、嶋状の微高地は古くからの居住地となり、低地に広がる水田を耕す農村として生きてきました。

近代以降も、大正年間の金町浄水場の開設や、昭和初期の耕地整理、戦後における都市化の進行など、近代化の波の中で変貌を遂げつつも個性を保ち続けてきた柴又の景観は、映画「男はつらいよ」の舞台となったように、人々の心を打ち続けています。

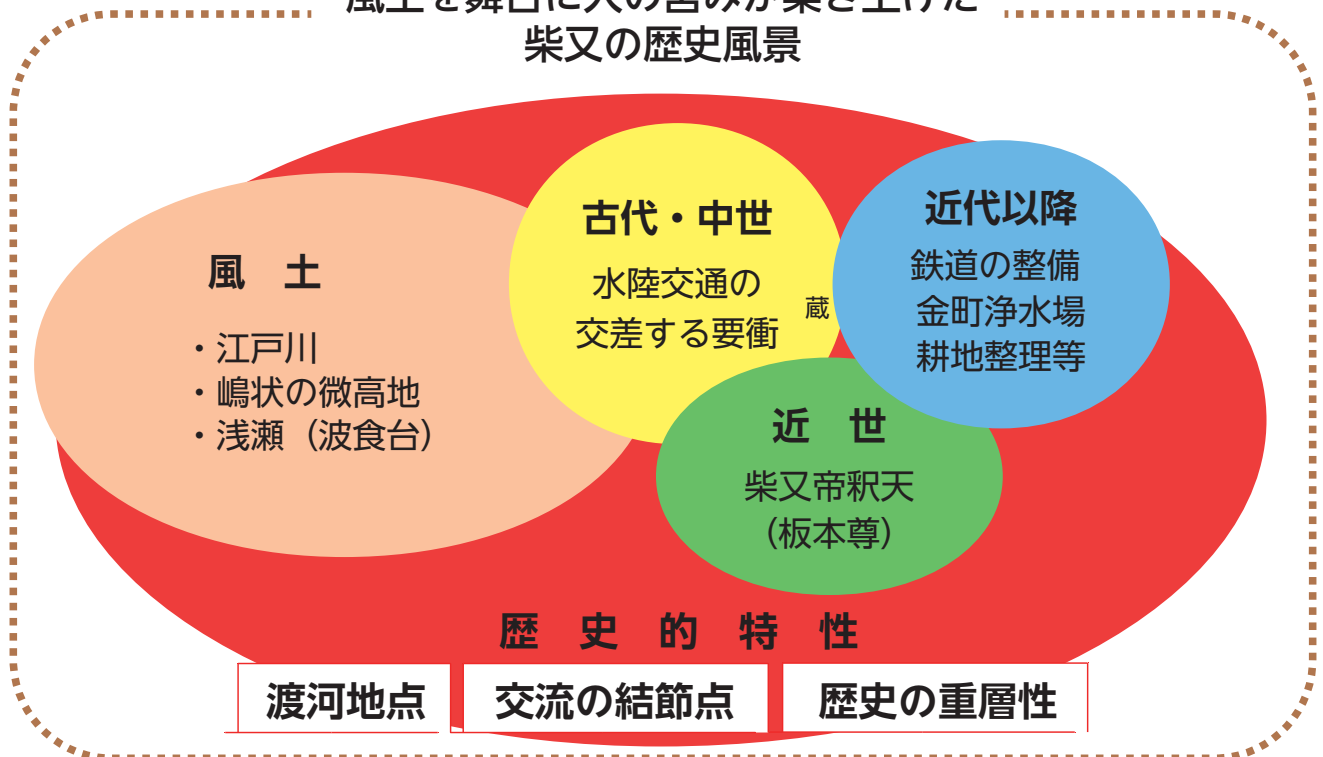


「昭和5年の柴又の風景」(個人蔵)



「昭和40年の柴又の風景」(個人蔵)

### 風土を舞台に人の営みが築き上げた 柴又の歴史風景





### Ⅲ

# 柴又地域文化的景観の魅力

- 1 文化的景観という観点からの柴又
- 2 柴又地域文化的景観の3つの魅力
- 3 柴又地域文化的景観の空間構成



## 1 文化的景観という観点からの柴又

「文化的景観」という観点から柴又を捉える場合、帝釈天題経寺と門前のような象徴的な空間のみを評価するのではなく、この地域を成り立たせるより広い領域における長い歴史の中で、現在の柴又の景観を捉えなおすことを意味します。

帝釈天題経寺を中心とした柴又地域は、かつて大都市近郊に偏在していた都市形成の一典型であり、現代にあってもその都市構造を継承し、生業を基礎とした独特の情緒ある景観を強く保ち、発展させてきた点で他に類例がなく、それが映画「男はつらいよ」の舞台として人々の胸に刻まれている貴重な文化的景観として注目されます。





## 2 柴又地域文化的景観の3つの魅力

### 【魅力1】 柴又のもつノード（結節）性

柴又は江戸・東京の東郊（江戸・東京⇄柴又）であり、北関東と房総の結節点（北関東⇄柴又⇄房総）でもあります。

- 陸上交通と水上交通の要衝
- 房総と武蔵を結ぶ
- 寺社彫刻に見る交流

### 【魅力2】 流動する建築・空間

参道や寺院など歴史的・文化的価値の高い情緒ある街並みが保存されていますが、これらは常に参詣客の動向を意識して、目まぐるしく様相を変えています。このダイナミックで流動する空間は今なお形成過程にあり、柴又の大きな魅力です。

- 題経寺の堂舎の建替・移築
- 参道に様々な突き出す庇や商品、行き交う人々等が混然一体となった景観

### 【魅力3】 都市と農村の両義性

柴又地域は、東京中心の伝統的下町でもなく、純粋な農村でもありません。親密な地域コミュニティが残る農村としての特徴を色濃く持ちつつ都市へと発展しています。

また、人文的観点、民俗的観点からも興味深く、柴又の魅力は奥深いものがあります。

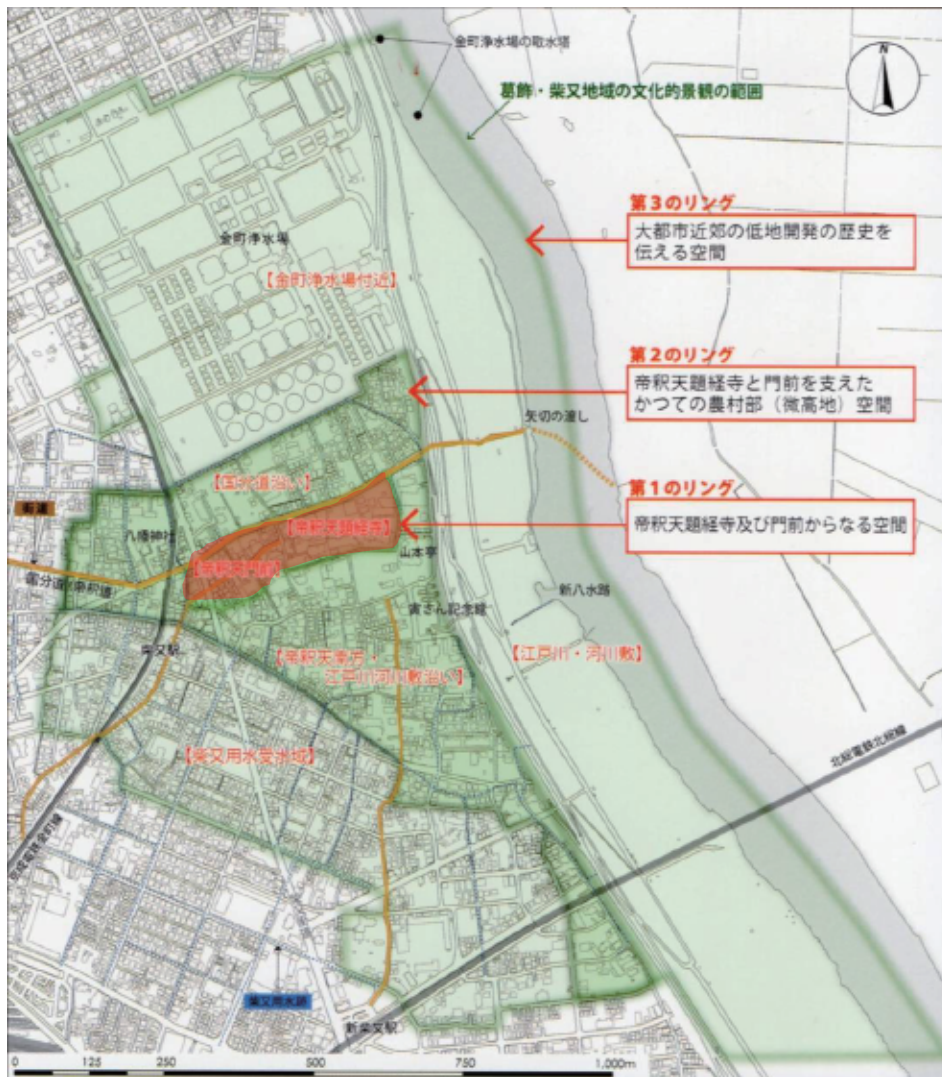
- 耕地整理の区画の維持
- 男はつらいよ（日本人の胸に刻み込まれた日本の原風景）



### 3 柴又地域文化的景観の空間構成

#### 【第1のリング】

東西方向に発達した微高地を中心とする帝釈天題経寺及び門前からなる空間



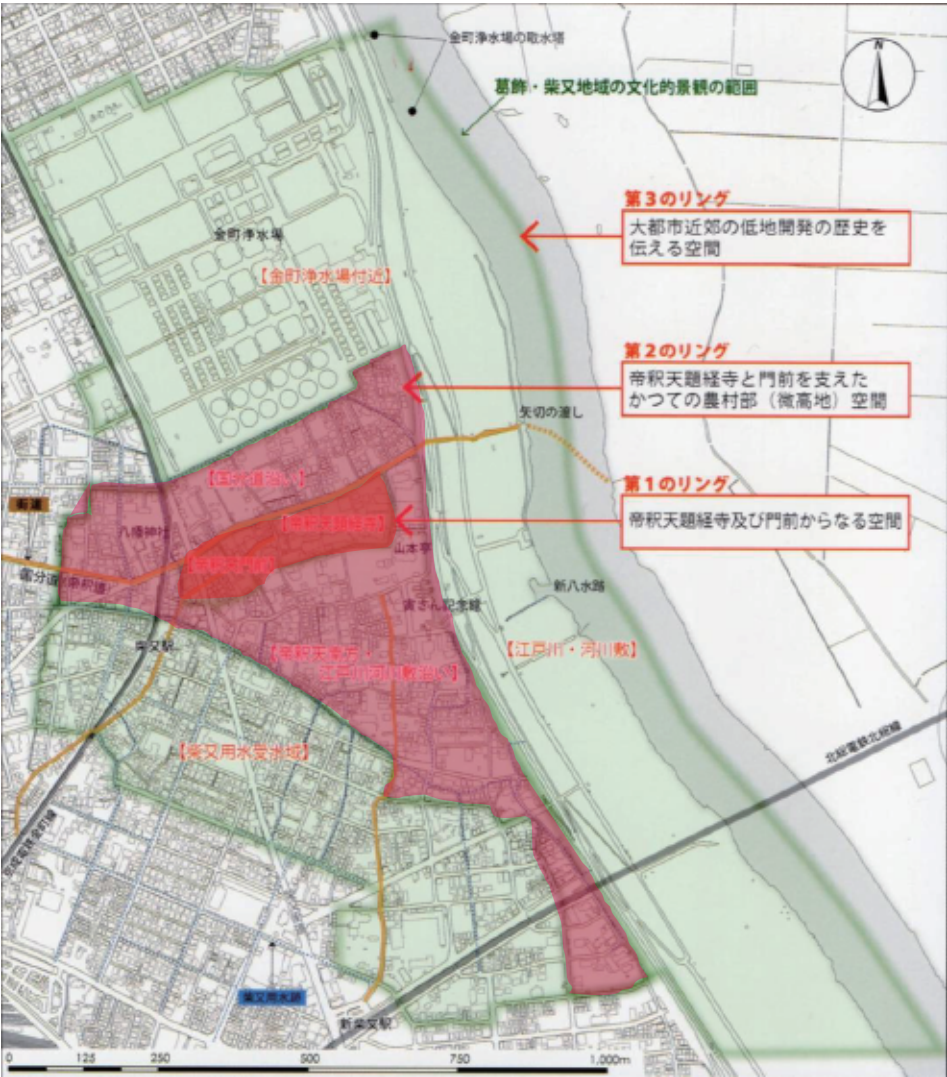
①帝釈天題経寺境内



②帝釈天題経寺門前

# 【第2のリング】

第1のリングを取り巻く江戸川河川敷沿い及び国分道沿いの微高地からなる帝釈天題経寺と門前を支えたかつての農村部(微高地)空間



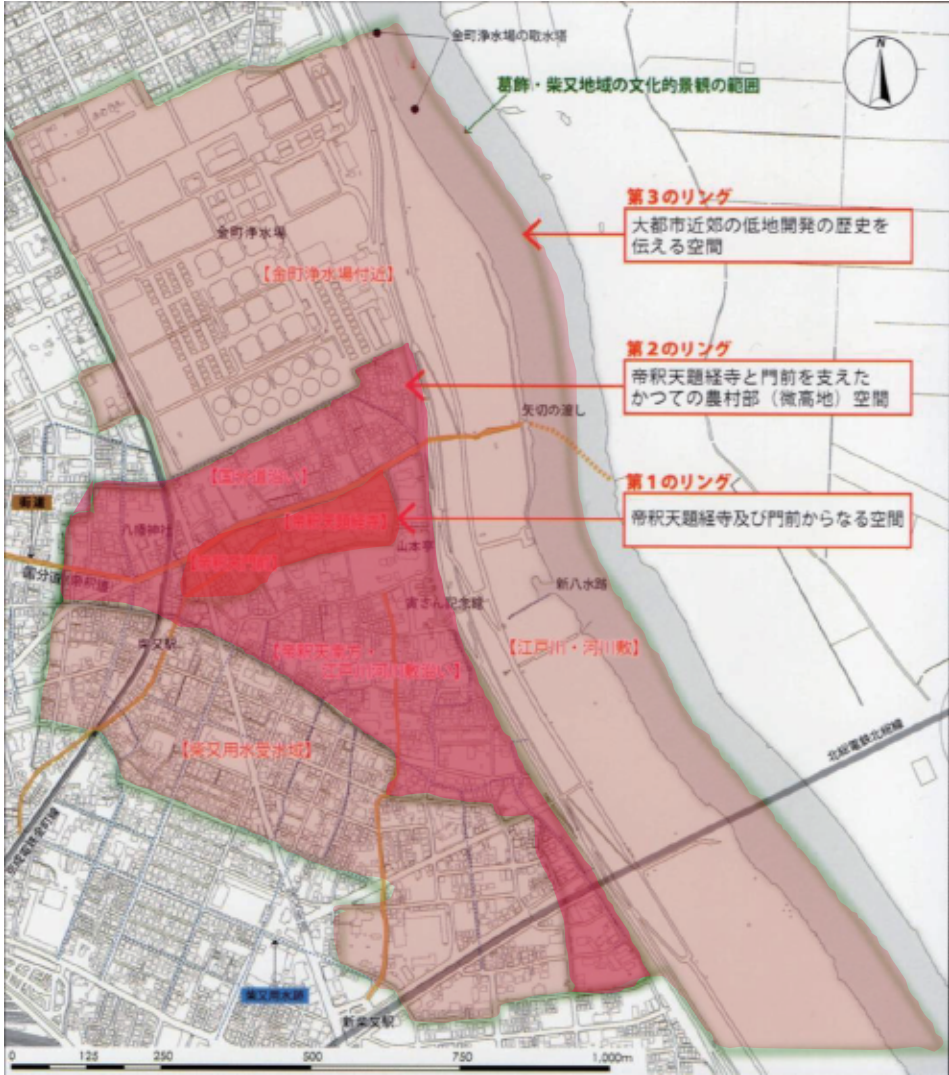
①国分道沿い



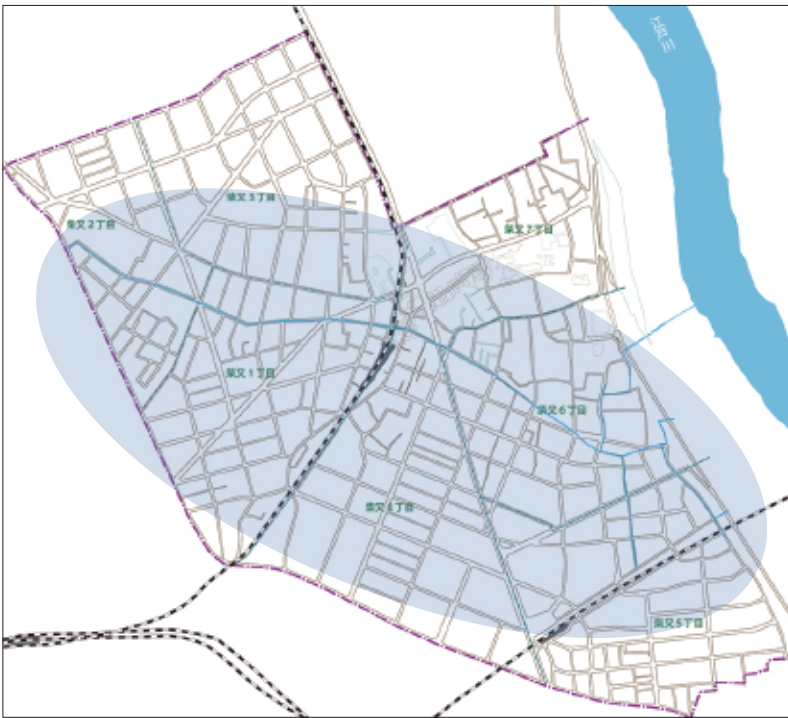
②帝釈天南方・江戸川河川敷沿い

# 【第3のリング】

第1、第2のリングを取り巻く  
近世以前は主に水田として利用され、近代以降には市街地  
化の進展した微高地周辺の低  
地からなる大都市近郊の低地  
開発の歴史を伝える空間



## ①柴又用水受水域



柴又用水跡



八幡神社

【第3のリング】

②金町浄水場付近



③江戸川・河川敷



# IV 柴又地域文化的景観の 保存方針

- 1 保存に関する基本方針
- 2 文化的景観の重要な構成要素
- 3 文化的景観に配慮した土地利用
- 4 文化的景観の整備・活用
- 5 文化的景観を保存するために必要な体制

贈寄服銅  
買引取所引取式株京東  
社合 司 式 株  
店商塚玉  
東京市口七橋區  
江戸橋一丁目

## 1 保存に関する基本方針

柴又地域文化的景観の価値を保存・継承していくため、「調和の取れた土地利用」と「文化的景観の特徴を示す構成要素の保存と継承」に努めるとともに、地域の方々の「伝統的な生活・生業の継承と発展」を支援していくことを基本方針とします。

対象範囲の地権者を含めた地域の方々とともに文化的景観の保存を進めるとともに、文化的景観の基盤をなす地域コミュニティの活動支援や協働を推進し、保存のための具体的な支援制度や文化的景観の価値や観光資源としての魅力を高めるための整備を進めます。

ポイント 1

ポイント 2

ポイント 3

>>>14 ページへ

## ポイント 1

参道及び江戸川土手から見る調和のとれた  
柴又の風景・街並みの保全



## ポイント 2

参道店舗の底下の特徴的な販売形式による賑わいのある  
空間や、店舗や庇が連続した独特の街並みを形成、歴史  
的で情緒ある建物が建ち並んでいる参道の景観の維持



## ポイント 3

参道・寺社・旧家・道・用水跡・河川など、柴又の歴史  
を感じさせる調和の取れた街並み景観の継承



## 2 文化的景観の重要な構成要素

文化的景観を構成する要素の中でも特に重要なものは「重要な構成要素」です。

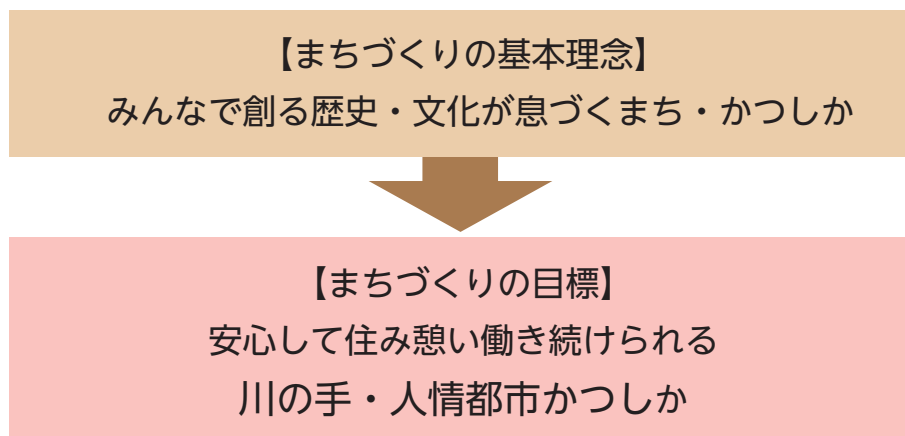
形態・意匠等が独特又は典型的であるとともに、技術・素材等の観点から顕著な固有性を持つものであって、かつ文化的景観の本質的な価値を示し、保護の対象として不可欠な構成要素のことをいいます。

柴又地域の文化的景観の重要な構成要素を特定するにあたり、その種別を「区域」、「道」、「水系」、「敷地」、「建築物」、「工作物」の6に区分し、併せて、調査によって明らかとなった3つの特徴「柴又のもつノード性（結節点）」、「都市・農村の両義性」、「参詣客を意識して変貌してきた建築・空間の流動性」との関連性を考慮して整理を行っています。

## 3 文化的景観に配慮した土地利用

### (1) 土地利用の方針

#### 『葛飾区都市計画マスタープラン』



## 『葛飾区都市計画マスタープラン』

### 【まちづくりの基本方針の概念】

#### ＜柴又地域の将来像＞

「特徴ある観光資源と魅力的な都市機能との連携による賑わいと活力に満ちたまち」



#### ＜まちづくりの基本方針＞

「柴又界隈を中心とした魅力ある観光拠点の形成と歴史性を重視した街づくり」

「安全で安心な落ち着いたある住環境の形成」

「水辺と一体的な文化・レクリエーション拠点の形成」 など

#### (2) 行為規制の方針

文化的景観における重要な構成要素として特定したものは、現状変更の届出等の行為規制を行うことでその保全・継承を図ります。

また既往の法律などとも照らし合わせ、各リングの土地利用の方針に基づき、文化的景観検討範囲全体を都市計画として新たに定めます。

## 4 文化的景観の整備・活用

重要文化的景観として選定された後に行われる整備及び活用のための計画については、3つの整備活用に関する基本方針を定めています。

- (1) 帝釈天題経寺門前及び寺社空間の積極的な利用に向けた整備・活用
- (2) 柴又の魅力を向上させる整備・活用
- (3) 東京の観光拠点としての魅力向上に向けた整備・活用



## 5 文化的景観を保存するために必要な体制

重要文化的景観として選定された後、文化的景観を保存するために必要な体制の基本方針として以下の3点が示されています。この基本方針に基づき必要な体制を整備していきます。

- (1) 文化的景観の基盤をなす地域コミュニティへの支援
- (2) 区民と行政の協働による仕組みづくり
- (3) 行政、住民、学識者から構成される文化的景観に対する体制整備

### 今後のスケジュール

- 平成 28 年 10 月 28・29 日  
文化的景観保存計画（案）及び都市計画（案）説明会
- 平成 29 年 1 月頃  
文化的景観保存計画完成
- 平成 29 年 1 月下旬  
都市計画法に基づく意見募集
- 平成 29 年 3 月頃  
都市計画決定・告示
- 平成 29 年 7 月  
国に対する重要文化的景観選定に係る申出

